

# 田和山の森から

令和6年4月5日  
発行 里山を育てる会  
不定期刊行

## 総会のご案内

下記のように令和6年度総会を開きますのでご案内いたします。

期 日：令和6年4月12日（金）17時から（作業後）

会 場：乃木公民館・・・大会議室（2階）

議 題：令和5年度事業報告 同 決算報告  
令和6年度事業計画 同 予算

申し込み：4月8日締め切り・・・竹下（090-7772-9414）or 荒川（090-7776-8073）へ

終了後、懇親会を行いますのでご参加ください。

会費は1,000円です。年会費1,000円もお願いします。

なお、退会希望者・入会希望者があれば4/8までに上記（竹下・荒川）に連絡下さい。



## 3月の作業

### ○キンラン自生地の整備

5月上旬、開花予定のキンラン自生地の整備を行う

### ○キンランの支柱づくり

竹を割って、先端を削り支柱を作る作業

### ○シイタケ栽培

#### シイタケの駒打ちと仮伏せ

3月8日（金）の作業は、シイタケの駒打ちを行いました。玉切りした原木に、シイタケ菌を打ち込みました。打ち込んだ原木は井桁に積み重ね、シートを被せて保存しました。終わって道具小屋の傾きを直す作業を行いました。臨時的な補修で、本格的には後日行う必要があります。



キンラン自生地の草刈り



シイタケの駒打ち



キンランの支柱づくり A



キンラン支柱づくり B

## 田和山の樹木 第47回 タラノキ

タラノキは、その新芽である

『タラの芽』が、春の山菜の王様として、とても人気があり、露地物やふかし栽培も盛んに行われており誰もが知っている樹木です。

日本各地で自生するウコギ科の落葉低木です。平地から標高の高い山地に分布しており、原野、河岸、森林、林道脇などで見ることが出来ます。パイオニアプランツであり、明るい日当たりの良いところに自生しています。森林が攪乱をうけると、いち早く出現し、大小の集団を作って群生します。高さは2～6メートル程度になり、幹、枝、葉にも鋭いとげが密集しています。

葉は、幹や枝の先端だけに集まってつき、夏には傘のように四方に大きく葉を開き、葉身は奇数2回羽状複葉で、全体の長さが50～100cmにも達する大きなものです。

田和山では、他の樹木が成長し、日陰を作るようになり局所的に明るいところで見ることが出来ます。典型的なパイオニアプランツです。

『タラの芽』は栄養価も高く、薬効もあると言われ、年に一度は食したいものです。

『タラの芽』は栄養価も高く、薬効もあると言われ、年に一度は食したいものです。



## 今後の活動

4月12日（金）13:30～（作業後、5時から総会）20日（土）9:00～、26日（金）13:30～

5月3日（金）13:30～、10日（金）13:30～、18日（土）9:00～、24日（金）13:30～、31日（金）13:30～